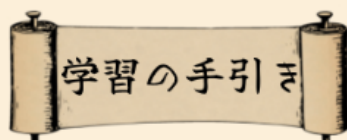


個別最適を目指す授業

「個別最適な学び」を実現するためには、私たち教員がその意味をきちんと理解しておくことと、それを実現している学習者（或いは授業そのもの）の様子がどのような状態なのかを明確にイメージできていることが大切だと考えます。また、そのイメージを学習者である子どもたちと共有しておくことが大切でしょう。



◎ゴールの姿と標準時数を基に計画を立てる！

- ・進み具合に応じて日々修正しましょう

◎学習は自分に合った方法でする！

- ・(デジタル)教科書 ・先生の説明 ・仲間聞く
- ・解説動画視聴 ・反復練習 ・調べる

◎自分のペースで理解していく！

- ・場合によってはこれまでの学習の復習も必要
- ・チェック問題は自力で挑戦！いつでも、何回やってもOK
(その単元が終わるまでに全部クリアしよう)
- ・ドリルはできるようになるまで繰り返しやってみましょう

◎学んだことを自分なりにノートにまとめる！

- ・新たな知識や解き方は確実に残しておきましょう

◎まとめたノートを撮影してロイロノートで共有

- ・仲間のノートを見て、良いな、と思ったら
書き足したり直したりしましょう

★誰も見捨てない！

- ・大事なのは皆でできるようになっていくこと
- ・クラスの中に困っている仲間がいないかな？

★分からないことがあったら素直に「分からない」と伝える！

- ・「わかったフリ」はこの学び方で最も危険
- ・予定通り進まなくても焦らないで

★時間を意識して学習を進める！

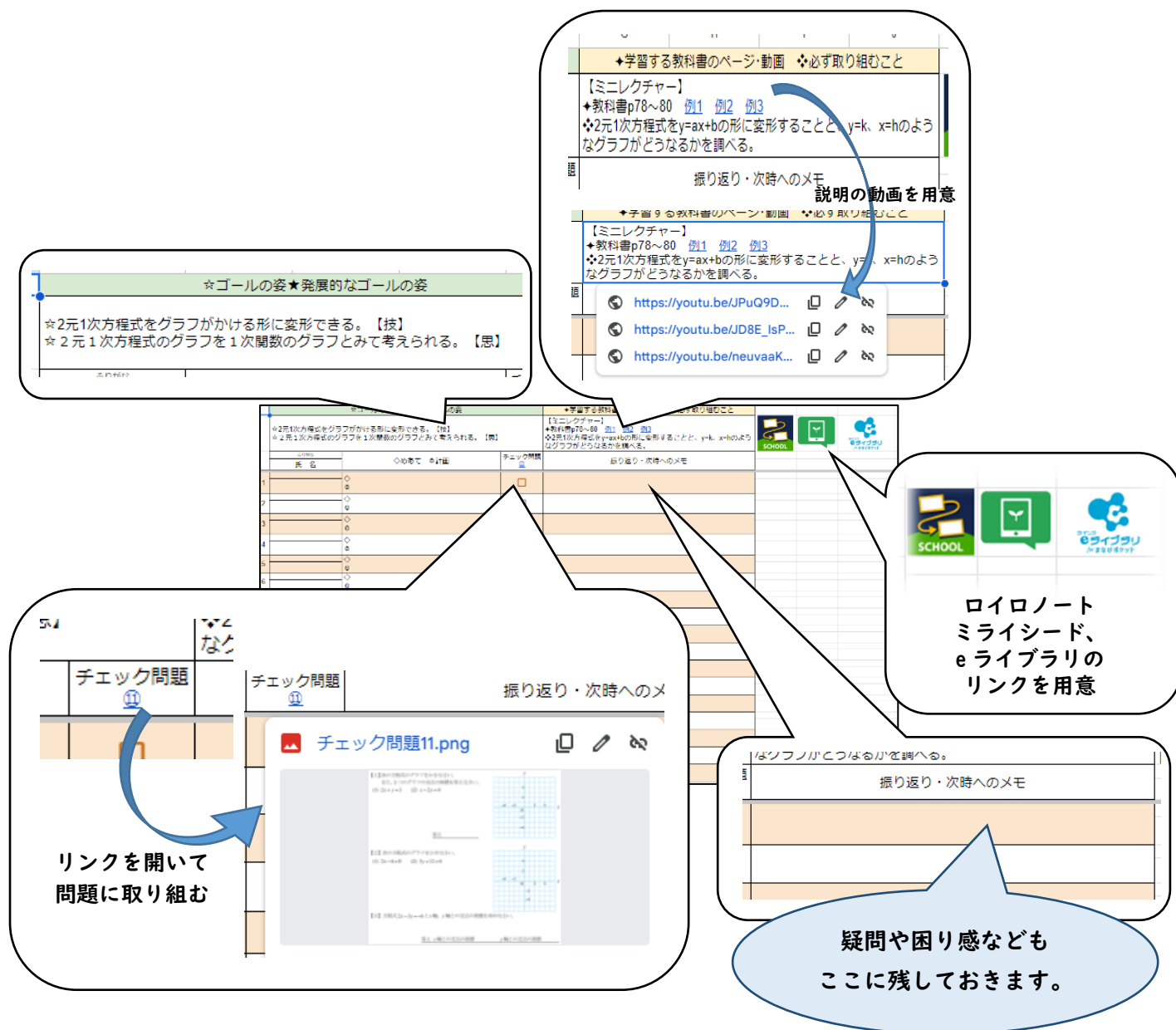
- ・1人で悩むばかりでは先へ進めない
- ・遅れているな、と思ったらできるところを家で進めるのも作戦のうち

★自立とは適切に人に頼ること！

- ・誰を頼るのが最も効果的かを考えて自ら人を頼ることこそ真の自立
- ・大人だって分からないことは専門家にたずねる

今回は授業の進め方の方針を共有するために、上のような「学習の手引き」を作成しました。

◎→授業の流れ、★→留意事項というまとめ方にしています。まだまだ不十分なものだとは思いますが共有いたしますので、改良してご活用いただければ幸いです。



当初6月中旬から下旬ごろを目処に取組を開始する予定だった授業実践ですが、準備等の関係で7月10日より取り組み始めました。現在進めている中学2年生「1次関数」の単元では、上のような単元シートをスプレッドシートで用意しています。学習者が自分で学習を進められることと、学習者自身が単元の目標を意識しながら自分で学びを調整できることをイメージして作成しました。これらを活用することで、教師は個に応じた指導及び支援をすることができると考えます。まだまだ改善の余地はあると思いますが、これから実際に授業をする中で思案していきたいと思っています。

併せて無視してはならないのが「協働的な学び」の充実です。本単元では、「基礎基本の知識・技能の定着」の場面と、日常事象に1次関数を応用する際の「方法の説明」の場面で協働的な学びを意識的に活用しようと思っています。これについては、もう一つの研究テーマでもある「心理的安全性」の確保も念頭に置いておかなければなりません。生徒どうしを繋ぐために、まずは私自身が生徒一人ひとりの関わりを大事にしようと思っています。